

備前市事務事業評価シート

事業の概要					
事業開始年度	昭和35年～		根拠法令・例規等	公営住宅法・備前市営住宅条例	
総合計画	大項目	05	生活環境政策「快適・活力」	問	担当課(室)
	中項目	08	快適な生活が送れるまち	合	職・氏名
	小項目	32	住宅の供給と安心できる住環境の整備	先	電 話
事務事業名	01	市営住宅整備事業		このシート作成に要した時間	1.5 時間

事業の目的		
対 象 (誰・何に対して)	市営住宅入居者及び当市に在住又は勤務して、住宅に困窮している低額所得者	
目 的 (何のために)	定住化の促進及び快適な住環境を提供する。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	老朽化した住宅を、入居者が安全で快適に生活を送れるよう整備する。	

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
目的を達成するため実施した事業	・市営住宅建設事業	市営住宅の新設、建替等を行ない新たな市営住宅を建てる事業です。	○
		H22年度に策定した「備前市公営住宅等長寿命化計画」に基づき建替えの準備や、現在の住宅の有効活用を図っていきます。計画に基づき大内団地の一部について、建替えを計画し、素案を検討中です。	
	・市営住宅建替事業	本来ならば建設事業と同じ新築する事業ですが、住宅整備という観点から大規模改修(リフォーム)事業を取り上げています。	○
		現在のところ、取り組んでいるものはありません。	

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	事業費	千円	0	0	0
	必要人員	人	0.08人	0.07人	0.02人
	必要人員	人	700	651	97
財源	国	千円			
	県				
	市				
	その他()				
	一般財源		700	651	97
受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標名		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標	建設改修戸数	戸	0	0	0
	対前年比	%			
	活動コスト	円	0		
	単位当たりコスト		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

事業の成果						
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値	
建設戸数+大規模改修戸数	目標値(A)	24%	0%	0	0	
	実績値(B)	24%	0%	0	到達目標値	
		達成率(B/A)	100.00%	#DIV/0!	#DIV/0!	218
平成25年度は、建替等の事業はありませんでした。						
(建設実施戸数+大規模改修戸数) / (建設目標戸数+大規模改修目標戸数) × 100						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	C

進行年度(H26年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
						○	
説明	計画的に事業を行っており、次の建替予定の大内団地について、素案を作成していきたい。						

総合評価		
平成22年度作成の備前市公営住宅等長寿命化計画に沿って、建替えや修繕を行うことにより、住環境を整備し定住化を促進していく。	総合評価	B

平成27年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○				
取組目標	次の建替予定の大内団地について、設計ができるように準備していきたい。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標がある成果指標に留意しな